

## 今週取材した 医療・病院

東邦大学医療センター  
大森病院  
水尾光一 医師  
住所／東京都大田区  
大森西6-11-1  
電話／03-3762-4151

## このほかに 「ED治療」を行って いるおもな病院

**札幌医科大学  
附属病院**  
泌尿器科  
住所／北海道札幌市中央区  
南1条西16-291  
電話／011-641-2111

**東北大学病院  
泌尿器科**  
住所／宮城県仙台市  
青葉区星陵町1-1  
電話／022-717-7000

慶應義塾大学病院  
泌尿器科

中部ろうさい病院  
泌尿器科  
住所 / 愛知県名古屋市  
港区港明 1-10-6  
電話 / 052-652-5511

長崎大学病院  
耳鼻咽喉科  
住所／長崎県長崎市  
坂本1-7-1  
電話／095-819-7200

パートナーへの  
カウンセリングも重要

クと薬物療法を中心とした治療を行う。心因性のEDの場合、ほとんどの患者がこの二つの治療で男性としての「復権」を果たすそうだ。カウンセリングでは、ときにはパートナーの女性に助言することもあるという。

「Ⓐ」のように明らかに間違っている場合は、奥さんときちんと説明します。「Ⓑ」のような場合は「奥さんが悪い」というわけにもいかないので、「少しほは旦那さんを刺激してあげてみては?」と、旦那さんの気持ちを代弁してあげるわけです」(永尾医師)

薬剤は現在「バイアグラ」「レ

①ED治療薬とカウンセリング」と呼ばれて性的不能と同一視されたり、友人どころか医師に相談するのもはばかられるような状況だった。しかし、バイアグラという画期的な治療薬の登場以来、「ED（Erectile Dysfunction =勃起機能の低下）」という呼称が生まれ、病気への理解も進んだ。CMや雑誌などで取り上げられることが多く、いまやすっかり認知されたといえよう。今回は、そんなED治療の最前線を取材した。

「ED治療薬は3種類『現役』も十分に可能

合うのが苦手なタイプだという  
固定観念がありました。でも最  
近は、そつした偏りはなくなり、  
『普通の人』が受診する例が増え  
ています」

こう語るのは、東邦大学医療  
センター・大森病院の水尾光一医  
師だ。同病院のリプロダクショ  
ンセンターで、年におよそ225  
00人（再診含む）もの患者と  
向き合っている。

「バイアグラが発売されて丸10  
年。治療薬が認められ、少しずつ  
社会的に受け入れ  
られてきたのでは  
ないでしょうか」

EDはその原因

温をもとに拂明日を割り出してセックスをしなければならない。この「しなければならない」が何日も続くと、男性に必要以上のプレッシャーを与えてしまふ。

また近いものとしてこんな例もある。  
Ⓐ妻が友達から「子どもをつくるには毎日セックスをしなければいけない」というウワサ話を聞きつけた。仕事后に夫婦で毎晩「もうひとつのお勧め」に励み続けた結果、夫の体が音をあげてしまった。

Ⓑ妻が「セックスは男性がすべてお膳立てするもの」という考え方を持つている。夫はまったく刺激が得られず、困り果てている。

性生活や異性の体に対する理解不足もEDの引き金になつてゐるのは確かだといえよう。

# E.D. の 治療

その治療法は  
本当に  
効くのか

# 行つて、見て、聞いた ニッポンの最先端医療

# 伊藤隼也